

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.23

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】

【国会事務所】

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1

〒900-0016 那覇市前島3-1-17

衆議院第一議員会館1107号室

電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

自民党・西田昌司議員が「歴史書き変え」発言
赤嶺議員に聞く

自民党の西田昌司参議院議員が5月3日、那覇市内で行われた「憲法シンポジウム」で、ひめゆりの塔の説明について「歴史の書き換えだ」などと発言し、県民から怒りの声が上がっています。西田氏は謝罪に追い込まれましたが、主張自体は撤回していません。赤嶺議員に聞きました。

— 今回の発言をどう受け止めていますか。

赤嶺 私の中学時代の恩師は、ひめゆり学徒隊の生き残りでした。しかし、私がそのことを知ったのはずっと後のことで、体験を語っている先生をテレビで見たとき

でした。それまで語らなかった理由を聞くと、「亡くなった友人たちに申し訳なくて、とも言えなかったと話していました。そのこと自体が戦争の実態を物語っていました。

八重山高校に着任した頃

参加しました。

5・15復帰53年を迎えて

衆議院議員 赤嶺政賢

沖縄の祖国復帰は、サンフランシスコ条約第3条の厚い壁を打破って実現したものです。私は1971年、八重山

高校に赴任し、高教組八重山支部の一員として農村での懇談会や郡民大会に積極的に

れました。組合で討議して、自衛隊拒否宣言の看板を職員室の入り口に掲げました。あれから53年。沖縄は新たな軍事要塞化に反対するたたかいの渦中にあります。復帰に願った基地のない沖縄は未だ

実現していないばかりか、ミサイル基地の強化など日米一体の戦争準備のための共同訓練が繰り返されています。しかし、県民のたたかいは決して屈しない。子や孫のためにも「イクサヤナランド」の沖縄戦体験者の声を思い起こし、憲法9条が生きる沖縄・日本をつくるために頑張ります。



西田発言について批判する赤嶺議員



小学校3年生になった孫。大人から自立して色んな遊びも覚えてきた▼今は野球ゲーム

に熱中。好きな選手でチームを作って楽しんでいる。じーじに甘えてくるときは、スマホを貸してと言う時くらい。15分だけと時間を決めてやり取りしている▼この間、『はだしのゲン』全10巻を買ってあげた。第1巻100ページ余り読んだよと報告にきた。感想を聞いたが答えない▼2巻にはまだ手がついていない。図書館から借りてくる本は、怪獣モノと野球の雑誌▼もうすぐ6月。各地で平和が語り継がれる季節。早く第10巻まで読み終える日を待ちわびている。

この間の活動

- 沖縄等米軍基地問題議員懇談会に参加(4月15日)
- 与那原町議選、うるま市長選で街頭演説(同19日)
- 照屋タイガ・うるま市長候補、玉城ナオキ・同市議候補の出発式に参加(同20日)
- 有楽町駅前のフェミニズアクションで挨拶(同21日)
- 全国空襲連主催の院内集会に参加、大田革新懇で講演(同23日)
- 総がかり行動実行委員会などが主催した憲法審査会の報告集会で挨拶(同24日)
- 相次ぐ米兵による性的暴行事件の発覚を受け、うりずんの会で外務・防衛両省に抗議要請(同25日)
- 照屋タイガ・ラストスパート集会など、うるま市長選で街頭演説(同26日)
- 石川県平和委員会主催の講演会で講演(同29日)
- 第96回メーデー沖縄県集会で挨拶(5月1日)
- 県憲法普及協議会などが主催の憲法講演会に参加(同3日)
- 日本共産党那覇市議と那覇市内で街頭演説(同3日、4日、5日、6日、10日、11日、17日、18日)
- 米兵犯罪被害者キャサリン・ジェーン・フィッシャーさんの日米地位協定改定などを求める政府要請に同席(同8日)
- 参院沖縄選挙区タカラさちか予定候補の出馬表明会見に出席(同10日)
- 北方領土返還促進に関する要請・請願受領式に参加、党国會議員団の選択的夫婦別姓学習会に参加(同12日)
- 県内の超党派の女性議員で構成する「沖縄うない」から保育士配置基準の見直しなどを求める要請を受け、子ども家庭庁への要請にうりずんの会で同席(同15日)
- 国民運動実行委員会などが主催の国会定例行動で挨拶、司法修習生の修習給付金が受けられなかった世代の解消に関する日弁連主催の意見交換会に参加(同21日)
- うりずんの会で海砂採取による海岸浸食の現地調査(同25日、大宜味、国頭町村)



社説 西田氏発言

「赤嶺 当時のことを何も知らない発言で、むしろ米軍による「反共教育にさらされてきた」のが実態です。米国民政府が発行する「守礼の光」今日の琉球」というプロパガンダ冊子が配布されていたから。しかし、米軍によつて引き起こされる事件・事故に言葉にならない憤りを感じていました。

「赤嶺 日本軍の加害の歴史を否定するもので、今の戦争国家づくりにつながっています。過去幾度となく歴史の修正を試みる動きがありましたが、戦争体験者が沈黙を破り、声を上げ、歴史を捻じ曲げる策動を止めてきました。私自身、07年の教科書問題をはじめ国会でたたかってきました。歴史の歪曲を絶対に許してはなりません。」

参院沖縄選挙区オール沖縄の予定候補タカラさちかさんの事務所開きが5月18日、那覇市内で行われました。会場からあふれるほどの人々が駆けつけ、勝利への決意を固めました。

タカラさんは、①日々の暮らしを安心して生きる、②多様性を認め、差別のない社会に生きる、③基地被害のない沖縄で平和に生きていくを柱に訴え、「生きる」を真ん中にする政治の実現に全力をつくすと決意を表明。

自民党の西田昌司参院議

「赤嶺 当時のことを何も知らない発言で、むしろ米軍による「反共教育にさらされてきた」のが実態です。米国民政府が発行する「守礼の光」今日の琉球」というプロパガンダ冊子が配布されていたから。しかし、米軍によつて引き起こされる事件・事故に言葉にならない憤りを感じていました。

「赤嶺 日本軍の加害の歴史を否定するもので、今の戦争国家づくりにつながっています。過去幾度となく歴史の修正を試みる動きがありましたが、戦争体験者が沈黙を破り、声を上げ、歴史を捻じ曲げる策動を止めてきました。私自身、07年の教科書問題をはじめ国会でたたかってきました。歴史の歪曲を絶対に許してはなりません。」

参院沖縄選挙区オール沖縄の予定候補タカラさちかさんの事務所開きが5月18日、那覇市内で行われました。会場からあふれるほどの人々が駆けつけ、勝利への決意を固めました。

タカラさんは、①日々の暮らしを安心して生きる、②多様性を認め、差別のない社会に生きる、③基地被害のない沖縄で平和に生きていくを柱に訴え、「生きる」を真ん中にする政治の実現に全力をつくすと決意を表明。

自民党の西田昌司参院議

社説で西田発言を批判する地元紙

「赤嶺 日本軍の加害の歴史を否定するもので、今の戦争国家づくりにつながっています。過去幾度となく歴史の修正を試みる動きがありましたが、戦争体験者が沈黙を破り、声を上げ、歴史を捻じ曲げる策動を止めてきました。私自身、07年の教科書問題をはじめ国会でたたかってきました。歴史の歪曲を絶対に許してはなりません。」

参院沖縄選挙区オール沖縄の予定候補タカラさちかさんの事務所開きが5月18日、那覇市内で行われました。会場からあふれるほどの人々が駆けつけ、勝利への決意を固めました。

タカラさんは、①日々の暮らしを安心して生きる、②多様性を認め、差別のない社会に生きる、③基地被害のない沖縄で平和に生きていくを柱に訴え、「生きる」を真ん中にする政治の実現に全力をつくすと決意を表明。

自民党の西田昌司参院議



決意を述べるタカラさちかさん

参院選挙区・オール沖縄予定候補 タカラさちかさんが事務所開き

員らが沖縄戦での日本軍の加害の史実を歪曲し、ねつ造する発言を繰り返していると指摘。「今回の選挙は私たちの歴史をかけた闘いにもなっていく。歴史のねつ造・歪曲は、新たな戦場を沖縄でつくり出すことにもつながりかねない」と述べ、「沖縄の声が届く政治を共につくっていく」と訴えました。

駆けつけたデニー知事は、「軍隊は住民を守らない」という沖縄戦体験者が受け継いできた教訓を否定する動きだと批判。「80年前に生きることさえできなかった方々への追悼の念も含め、必ず勝ちにいこう」と訴えました。

集会には、赤嶺政賢議員らオール沖縄の国会議員もそろって参加しました。